

2024年9月中間期

ディスクロージャー誌



Semi-Annual Report

静岡中央銀行の現況

SHIZUOKA CHUO BANK

お客様・地域社会と共に発展し
ベストパートナーとして信頼される銀行を目指して



取締役社長 小森 博史
取締役会長 清野 真司

皆さまには、日頃より静岡中央銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

おかげさまで、業容も着実に拡大しており、これもひとえに皆さまのご支援の賜物と深く感謝しております。

このたび、静岡中央銀行をより一層ご理解いただき、さらに身近に感じていただくため、2024年9月中間期ディスクロージャー誌を作成しましたので、ご一読いただければ幸いと存じます。

当行は、2024年4月より2年間の計画期間とする第15次中期経営計画「深化Ⅱ」～持続的成長に向けた挑戦～をスタートいたしました。

基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、ビジネスモデルである「訪問頻度管理」を深化させ、お客様と地域に寄り添った支援を継続するとともに、外部環境・内部環境や認識する課題等を踏まえた新たな施策にも積極的に取組むことで、地域金融機関として、「お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行」であることを役職員一丸となって目指してまいります。

今後も、皆さまのベストパートナーとして、幅広いニーズに迅速かつ適切に対応し、地域金融機関としての役割を十分に果たせるよう努めてまいりますので、皆さまにおかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年1月



静岡中央銀行 2025年カレンダー富士山フォトコンテスト
最優秀賞「雲の切れ間」山本 武正氏 撮影

CONTENTS

ごあいさつ	1	3. 地域の皆さまとともに
静岡中央銀行のプロフィール	2	地域密着型金融の推進
1. 経営方針		サステナビリティへの取組み
経営理念	3	資料編
中期経営計画	3	11
2. 業績ハイライト(単体)		
2024年度 中間決算概要	4	

本冊子は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー誌です。

静岡中央銀行のプロフィール (2024年9月30日現在)

本店所在地	沼津市大手町4丁目76番地
設立	1926年(大正15年)11月12日
資本金	20億円
預金	7,374億円
貸出金	6,192億円
店舗数	43店舗
	(静岡県内 23本支店 3出張所)
	(神奈川県内 14支店 2出張所)
	(東京都内 1支店)
従業員数	428人

経営理念

堅実で健全な経営

当行は、経営理念「堅実で健全な経営」のもと、地域経済活性化への貢献に努め、地域と共に成長し地域金融機関としての企業価値を高めることにより、お客様・地域社会のベストパートナーとして信頼を得る。



中期経営計画

- 当行は、2024年4月より第15次中期経営計画「深化Ⅱ」～持続的成長に向けた挑戦～をスタートいたしました。基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、ビジネスモデルである訪問頻度管理を深化させ、外部環境・内部環境や認識する課題等を踏まえた新たな施策にも積極的に取り組むことで「お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行」を目指してまいります。

第15次中期経営計画

深化Ⅱ 持続的成長に向けた挑戦

期間/2024年4月～2026年3月(2年間)

経営理念

堅実で健全な経営

目指す銀行像

お客様・地域社会と共に発展し
ベストパートナーとして信頼される銀行

基本方針

お客様中心主義の深化

“ビジネスモデル＝訪問頻度管理”を深化させ、
お客様と地域に寄り添って
ニーズや課題に応える(解決する)ことで、共に発展を目指す。

行動指針

Passion(熱意)& Team support(チーム対応)

5つの基本戦略

I お客様中心主義の実践

- 1.信頼される行動の実践
- 2.3つのCCの実践
- 3.利便性の高い商品・サービスの提供と課題解決支援の実践

II 営業改革の実践

- 1.訪問頻度管理のステップアップ
- 2.金融仲介機能の発揮と地域経済活性化への貢献
- 3.預貸併進と真のメイン先の増加

III 業務改革の実践

- 1.生産性向上と効率化に向けた業務改革
- 2.経営資源の最適化とサステナビリティへの取り組み
- 3.店舗戦略

IV 活力ある人事戦略

- 1.人事制度改革、採用体制の強化と多様化
- 2.挑戦する人材の育成、多様な人材の登用と活躍機会の拡大
- 3.行員ロイヤルティ・働きがい向上による活力アップ

V 経営基盤の強化

- 1.基礎的利益的持続的拡大
- 2.安定的な有価証券収益の確保
- 3.持続的成長の基礎となる経営管理の強化(創立100周年に向けた対応)

用語解説

「ICC」とは?

Customer Centric(カスタマーセントリック)の略語で、「お客様中心主義」を意味します。
「お客様(カスタマー)を中心(セントリック)に」物事を考え、判断し、行動することを指します。

「ロイヤルティの高いお客様」とは?

将来にわたって当行に利益をもたらす行動意図があるお客様のことで、

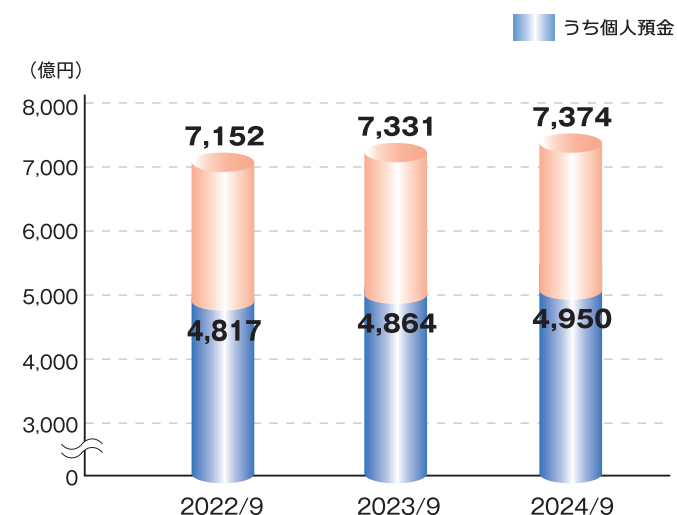
- ①他に選択肢があるにもかかわらず当行を選んでいただけるお客様
- ②当行との取引を永く続けていただけるお客様
- ③友人・知人・親戚に当行を紹介したり取引を奨めていただけるお客様
- ④不平・不満があったら正しく伝えてくださるお客様

2024年度 中間期決算概要

■預金残高

～年間増加率0.5%～

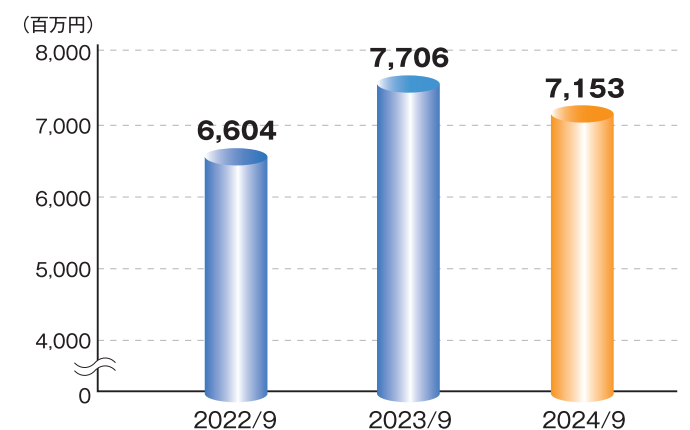
店頭・店周営業の着実な実践によって、個々のニーズやライフステージに応じた商品・サービスの提供に努めたこと等により、預金残高は前年同期末比42億円0.5%増加の7,374億円となりました。



■経常収益

～役務取引等収益 2年連続増加～

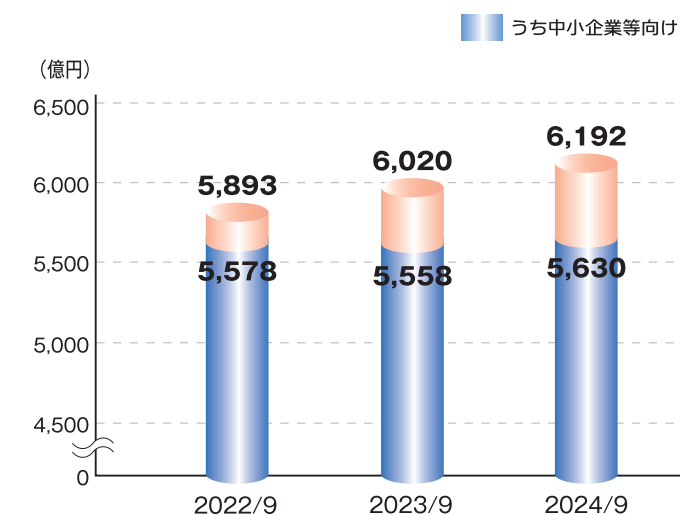
貸出金利息、役務取引等収益が増加するなど本業が堅調に推移したものの、株式等売却益の減少等により、経常収益は前年同期比5億52百万円7.1%減収の71億53百万円となりました。



■貸出金残高

～年間増加率2.8%～

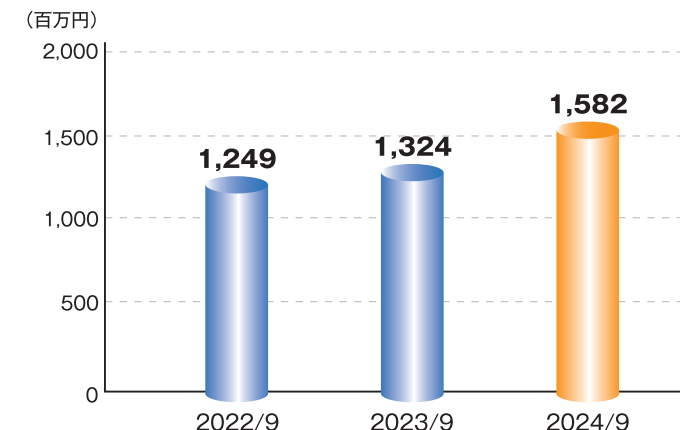
定期的な顧客訪問の徹底によってお客様の経営課題解決の支援等に積極的に取り組むなど、金融仲介機能の発揮に努めたことにより、貸出金残高は前年同期末比172億円2.8%増加の6,192億円となりました。



■中間純利益

～4年連続の増益～

本業が堅調に推移したほか、与信費用の減少等もあり、中間純利益は前年同期比2億57百万円19.4%増益の15億82百万円となりました。

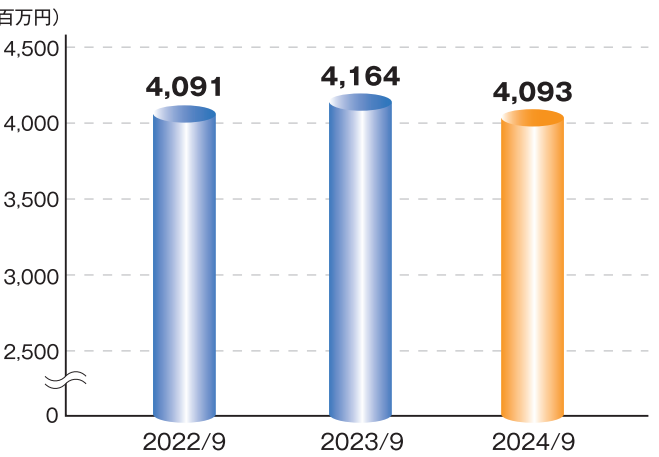


2024年度 中間期決算概要

■ 預貸金利益（貸出金利息－預金利息）

～貸出金利息 6年連続増加～

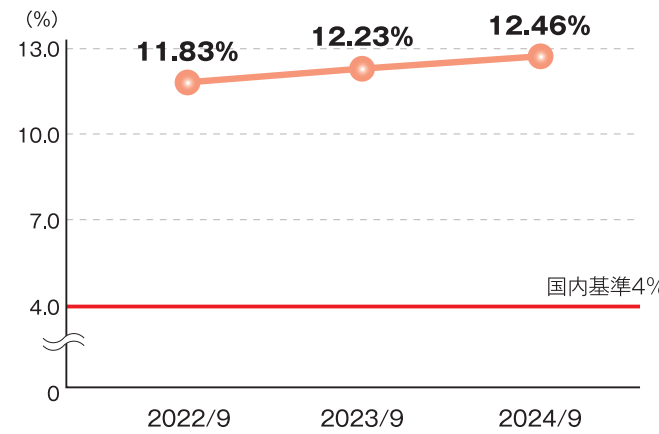
貸出金残高の着実な増加によって貸出金利息が6年連続で増加したものの、預金の増加や預金金利の引上げ等に伴う預金利息の増加により、預貸金利益は前年同期比71百万円1.7%減益の40億93百万円となりました。



■ 自己資本比率（国内基準）

～高水準の自己資本比率を堅持～

自己資本比率は12.46%と国内基準の4%を大きく上回り、高水準の自己資本比率を堅持しております。

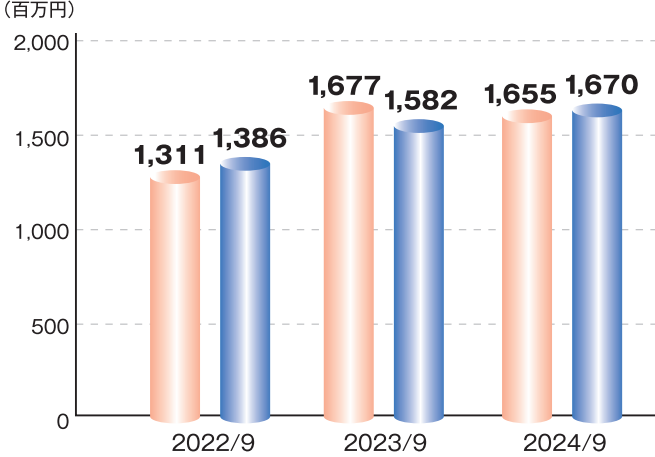


■ コア業務純益

～本業利益は着実に増加～

本業の収益力を示す投資信託解約損益を除くコア業務純益は、役務取引等利益や有価証券利息配当金が増加したこと等により、16億70百万円と堅調に推移しております。

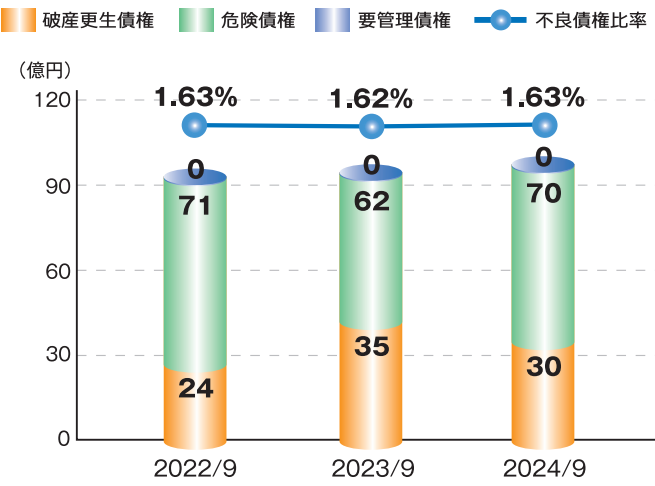
コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益



■ 不良債権の状況

～1%台 高い健全性を維持～

金融再生法開示債権およびリスク管理債権は101億78百万円となり、総与信残高に占める割合は1.63%となりました。なお、同債権の87.8%を担保等でカバーしております。



地域密着型金融の推進

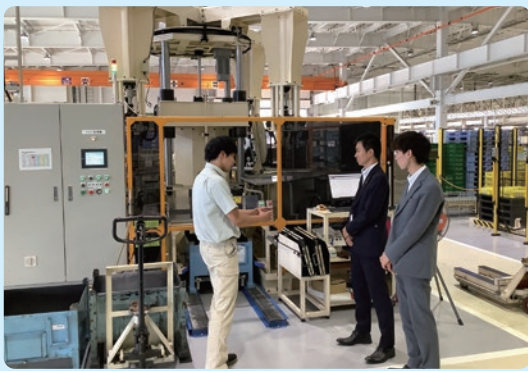
● 事業性評価向上による本業支援とコンサルティング機能の発揮

本業支援による金融仲介機能の発揮

当行では、地域金融機関の使命として、従来以上にマーケティングや外部専門機関との連携を強化し、地域のお客様に対する円滑な資金供給、各種ソリューションの提供等により、金融仲介機能の発揮に努めております。

今後も「訪問頻度管理」によるお客様への定期的な訪問を徹底し、「本業支援ヒアリングシート」※を活用することで、取引先の事業内容やニーズ等の把握に努め、そのニーズに対する迅速な対応、各種情報提供等に積極的に取り組んでまいります。

※取引先の事業性や成長可能性等を適切に評価し、助言・支援する当行独自のツール。



撮影協力：株式会社イズラシ

外部専門機関との連携強化
～専門的ニーズに積極的に対応～

当行では、お客様の事業承継・M&A・相続・補助金申請サポート等、より専門的なニーズに対し、外部専門機関と連携しながら積極的に対応しております。

また、業務提携先・業務提携分野も順次拡大しており、2024年度（2024年4月～12月）は新たに4社の外部専門機関と業務提携契約を締結いたしました（2024年12月31日現在 76社と業務提携）。

今後も、地域金融機関としての役割を果たせるよう、お客様の問題解決のサポートに積極的に取り組んでまいります。

提携分野	① 相続・事業継承・M&A	⑥ リース関連
	② 補助金申請	⑦ システム導入関連
	③ 人材紹介	⑧ 節税関連
	④ 建設・不動産関係	⑨ 企業支援・コンサル関連
	⑤ 販路開拓	⑩ 経費削減関連 他



撮影協力：株式会社イズラシ

「しずちゅうビジネスクラブセミナー」開催

2024年11月～12月に「しずちゅうビジネスクラブセミナー」を3会場（沼津市、掛川市、横浜市）で開催いたしました。

本セミナーでは、特別講演として株式会社浜野製作所 代表取締役CEO 浜野慶一氏を講師に迎え、『下町町工場奮闘記～ものづくりから世界への挑戦～』と題し、ご講演いただきました。「しずちゅうビジネスクラブ」では、会員の皆さまへの各種情報提供、セミナーの開催、会員間の交流等、様々なお手伝いを行っております。

今後も、価値ある情報と経営支援サービスの提供等により、地域社会の発展に貢献できるよう努めてまいります。



地域密着型金融の推進

●お客様に喜ばれる商品・サービスの提供

「年金定期バースデー1000」へリニューアル

当行では、地域のシニア世代を応援するため、当行で公的年金をお受け取りのお客様向けに店頭表示金利に0.3%上乗せした「年金定期バースデー500」の預入限度額を「500万円」から「1,000万円」に変更し、商品名を「年金定期バースデー1000」へ変更のうえ、2024年10月より販売を開始いたしました。

あわせて「バースデープラス定期預金」、
「パートナー定期預金」もそれぞれ上乗せ金利の
引き上げを行いました。



「ご近所応援定期“エール”」好評販売中

主に店舗周辺のお客様を対象とした「ご近所応援定期“エール”」は、2024年9月に商品改定を実施し、特別金利の引き上げを行っております。

本商品は店舗窓口にご来店していただいた方限定の定期預金となり、安定した資金運用手段の提供により、地域のお客様のライフプランをサポートいたします。

- 取扱期間：2024年9月17日～2025年3月31日
- 対象：個人のお客様
※店舗窓口にご来店していただいた方限定
- 預入期間：1年
- 適用金利：年0.30%
- 預入金額：10万円～300万円以内



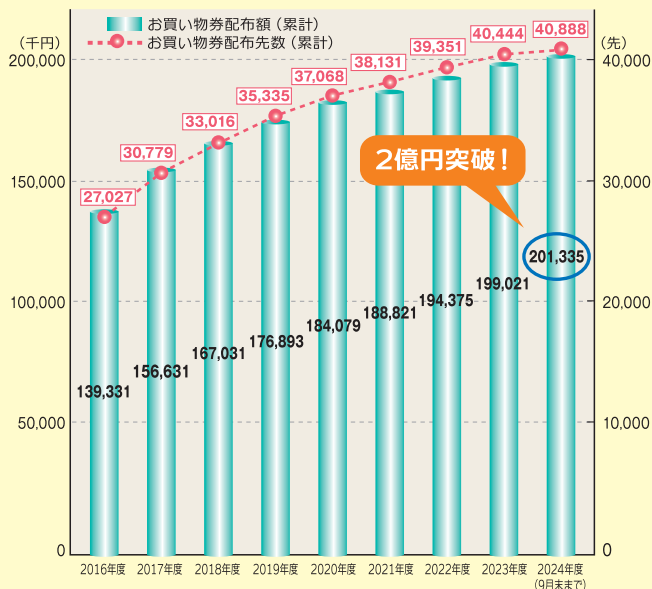
「お買い物券付定期預金」による地域貢献

2007年12月より、地域の面的支援として、地元商店街やショッピングセンター等で利用できる「お買い物券」を預入額に応じてプレゼントする「お買い物券付定期預金」の販売を開始いたしました。

2024年度(9月末まで)は、計5回(5地区)実施しました。
今後も、お客様のニーズに合った商品・サービスの提供を通じて、地域社会の発展に貢献してまいります。

「お買い物券付定期預金実績(累計)」 (2007年12月～2024年9月)

- 実施回数：203回(21地区)
- お買い物券配布先数：延4万名
- お買い物券配布額：約2億円



スマートフォンアプリによる各種サービスの提供

当行では、2022年10月より、2つのスマートフォンアプリ「しずちゅうアプリ」および「静岡中央銀行 かんたん通帳」を提供しております。

「しずちゅうアプリ」から、当行ホームページや「静岡中央銀行 かんたん通帳」アプリ、インターネットバンキングのログイン画面へアクセスできます。

静岡中央銀行ポータルアプリ 「しずちゅうアプリ」



1 「静岡中央銀行 かんたん通帳」

当行と取引があるお客様(個人・個人事業主)が口座残高・取引明細を、スマートフォンアプリでリアルタイムに確認できるサービスです。

アプリで連携できる口座は普通預金・貯蓄預金・定期預金・カードローンの4種類(法人口座を除く)で複数の口座を連携できるため、スマートフォンでお持ちの口座をまとめて管理することができます。

ダウンロードはこちら



2 「ことら送金サービス」との連携

個人間での1日10万円以下の送金がスマートフォンから手数料無料でご利用いただけます。

本サービスは、株式会社ことらが提供するサービスで、加盟する金融機関や資金移動業者の送金が可能となり、当行ではスマートフォン決済サービス「Bank Pay」アプリにてご利用いただけます。

※1「ことら送金サービス」について、詳しくは株式会社ことらのホームページをご参照ください。 <https://www.cotra.ne.jp/p2pservice/>

※2「Bank Pay」は日本電子決済推進機構が提供するスマートフォン決済サービスです。詳しくは「Bank Pay」のホームページをご参照ください。 <https://jeppo.jp/bankpay/>

3 資産形成総合サポートサービス 「Money Canvas」

2024年10月より、株式会社三菱UFJ銀行が提供する資産形成総合サポートサービス「Money Canvas」との連携を開始いたしました。

「Money Canvas」では、お金に関する知識や資産形成に関する心構えなどの情報を分かりやすく提供するとともに、株式・投信信託等の幅広い金融商品・サービスの中から自分に合ったものを選び、来店不要でお取引できます。

「PayPay」への残高チャージサービス

当行は、お客様の利便性向上を目的に、PayPay株式会社が提供するキャッシュレスサービス「PayPay」と口座連携サービスを2024年6月より開始いたしました。

PayPayと当行預金口座を連携し、チャージすることで、PayPay加盟店での支払いや個人間の送金、請求書による税公金納付が簡単に行えます。

※「PayPay」は当行のサービスではありません。アプリのご使用方法などの詳細は下記ホームページをご参照ください。 <https://paypay.ne.jp/>

地域密着型金融の推進

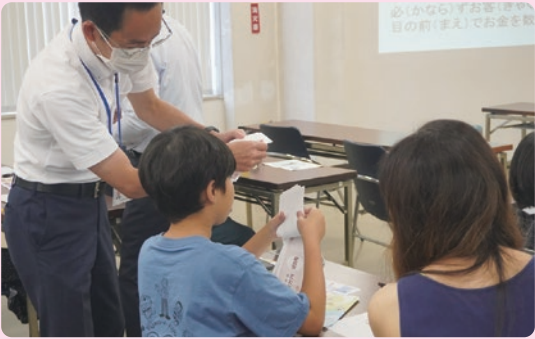
●地域に根差した地域貢献活動の取組み

「しずちゅうミニ銀行員体験講座」開催

当行では、職業体験を通じ、地域の仕事を知ってもらい、将来地元で働く選択肢の一つとなるように小学生向けの金融教育「銀行の仕事ってなに？しずちゅうミニ銀行員体験講座」を、静岡県東部地域局が主催する「夏休み自由研究体験講座」として開催いたしました。

「お金」の基本的な知識や銀行の仕事内容を紹介し、体験講座では「ミニ銀行員」として、実際の銀行員の仕事を体験していただきました。

今後も、金融経済教育に積極的に取り組み、豊かな地域社会の実現に貢献できるよう努めてまいります。



「しずちゅう旗静岡県学童軟式野球大会」開催

当行では、2012年より学童の心身の健全な育成支援のため、「しずちゅう旗静岡県学童軟式野球大会」（「静岡県野球連盟」及び「静岡県野球連盟少年部」主催）に特別協賛しております。

2024年6月には、「第12回」大会を開催いたしました。

本大会には、静岡県内の小学生軟式野球チーム約240チームが参加し、各地域の予選を勝ち抜いた40チームが3日間にわたってトーナメント方式で競った結果、中泉クラブスポーツ少年団（磐田）が初優勝を果たしました。

今後も、学童の健全な成長を応援し、地域社会の発展に貢献してまいります。



第12回大会優勝チーム 中泉クラブスポーツ少年団

●“ふじのくに”静岡の魅力を県内外に紹介

「富士山フォトコンテスト」開催

当行では、1958年以来、富士山の風景写真を使用したカレンダーを毎年発行しており、大変ご好評をいただいております。

また、2011年5月より“ふじのくに”静岡の魅力を県内外に紹介し、地域活性化を目的とした「富士山フォトコンテスト」を開催しており、最優秀賞作品を当行カレンダーに採用しております。

【最優秀賞】
作品名「雲の切れ間」山本 武正 様

※受賞作品は当行ホームページにてご覧いただけます。
当行のホームページのトップページにある富士山ギャラリーのバナー、もしくはQRコードからご覧ください。

「富士山ギャラリー」



サステナビリティへの取組み

●サステナビリティ方針

静岡中央銀行は、経営理念「堅実で健全な経営」に基づく企業活動を通じて、気候変動・環境問題等の社会的課題の解決に取組み、地域経済の発展と当行の企業価値向上を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

●SDGs/ESG/気候変動への取組み

静岡中央銀行SDGs宣言

静岡中央銀行は、国際連合が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の趣旨に賛同し、経営理念「堅実で健全な経営」のもと、企業活動を通じて地域の課題解決と持続可能な社会の実現に努めてまいります。

重点取組方針

地域経済の持続的発展への貢献

お客様のベストパートナーとして、金融仲介機能を発揮し、地域企業や地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

多様な人材の活躍

すべての役職員が活躍できるよう、環境整備、人材育成に取組んでまいります。

地域の環境保全

お客様の環境保全に向けた取組みを支援し、自らも環境負荷低減に向けた取組みを推進してまいります。



「女性活躍推進企業」に認定

2024年7月11日付で静岡労働局長より、女性活躍推進法に基づく認定マーク「えるぼし（2段階目）」を取得いたしました。これは、当行が女性の働きやすい環境の整備やキャリアアップ支援への取組が優良な企業として認められたものです。

当行では、今後も多様な人材の成長・活躍を促進し、お客様・地域社会とともに発展し、ベストパートナーとして信頼される銀行を目指してまいります。



「TCFD提言」への対応

2022年7月に「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」への賛同を表明しており、気候変動・環境問題への取組みを強化するとともに、TCFD提言を踏まえた気候変動リスク・機会に関連する情報開示の充実にも努めてまいります。

（CO2 排出量削減）

定 義	Scope1およびScope2※1に該当するCO2排出量
目 標	（中間目標）2030年度までに2013年度比▲46% （最終目標）2050年度までにカーボンニュートラル実現

※1
Scope1：（直接排出）車両によるガソリン使用、ガスの使用
Scope2：（間接排出）電気の使用

（サステナブル関連投融资）

定 義	気候変動・環境問題等の社会的課題の解決に向けた取組みを支援・促進する投融资
目 標	2023年度から2030年度までに500億円

“お客様・地域社会と共に発展しベストパートナー
として信頼される銀行”を目指します。



静岡中央銀行



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に配慮し、植物インクを
使用しています。

THE SHIZUOKACHUO BANK,LTD.

■発行 2025年1月

株式会社静岡中央銀行/経営管理部

〒410-0801 沼津市大手町4丁目76番地

TEL.055-962-6113

■ホームページアドレス

<https://www.shizuokachuo-bank.co.jp/>